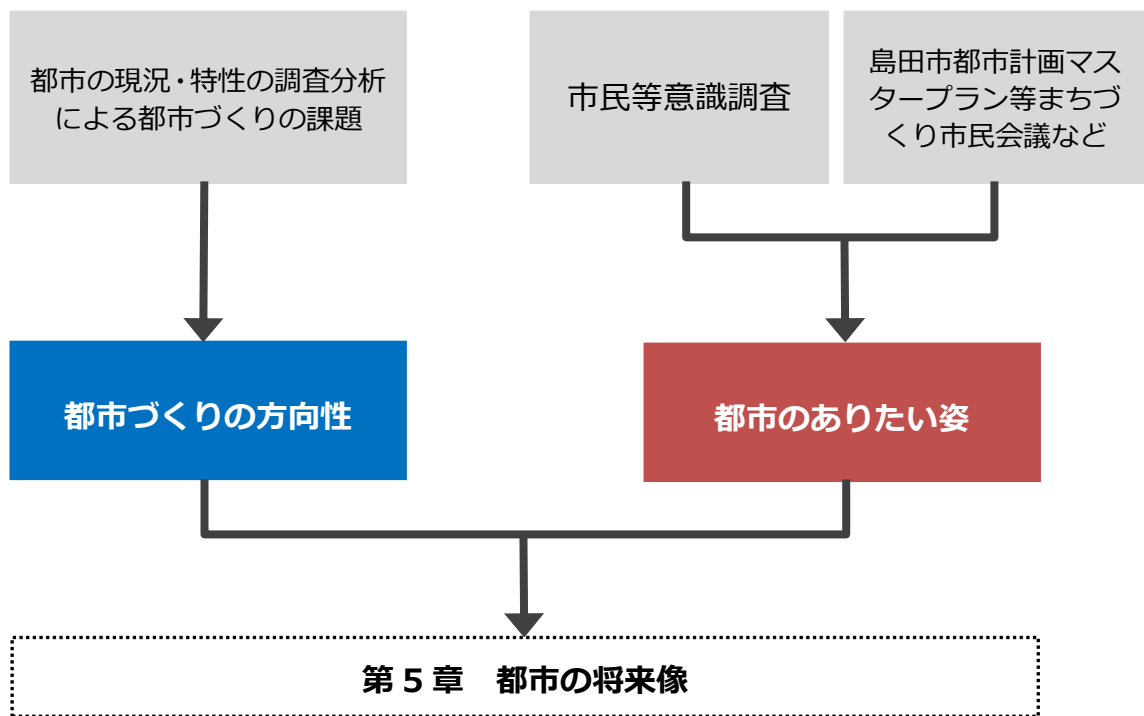


第4章 都市づくりの課題と方向性

4-1 課題と方向性の整理方法

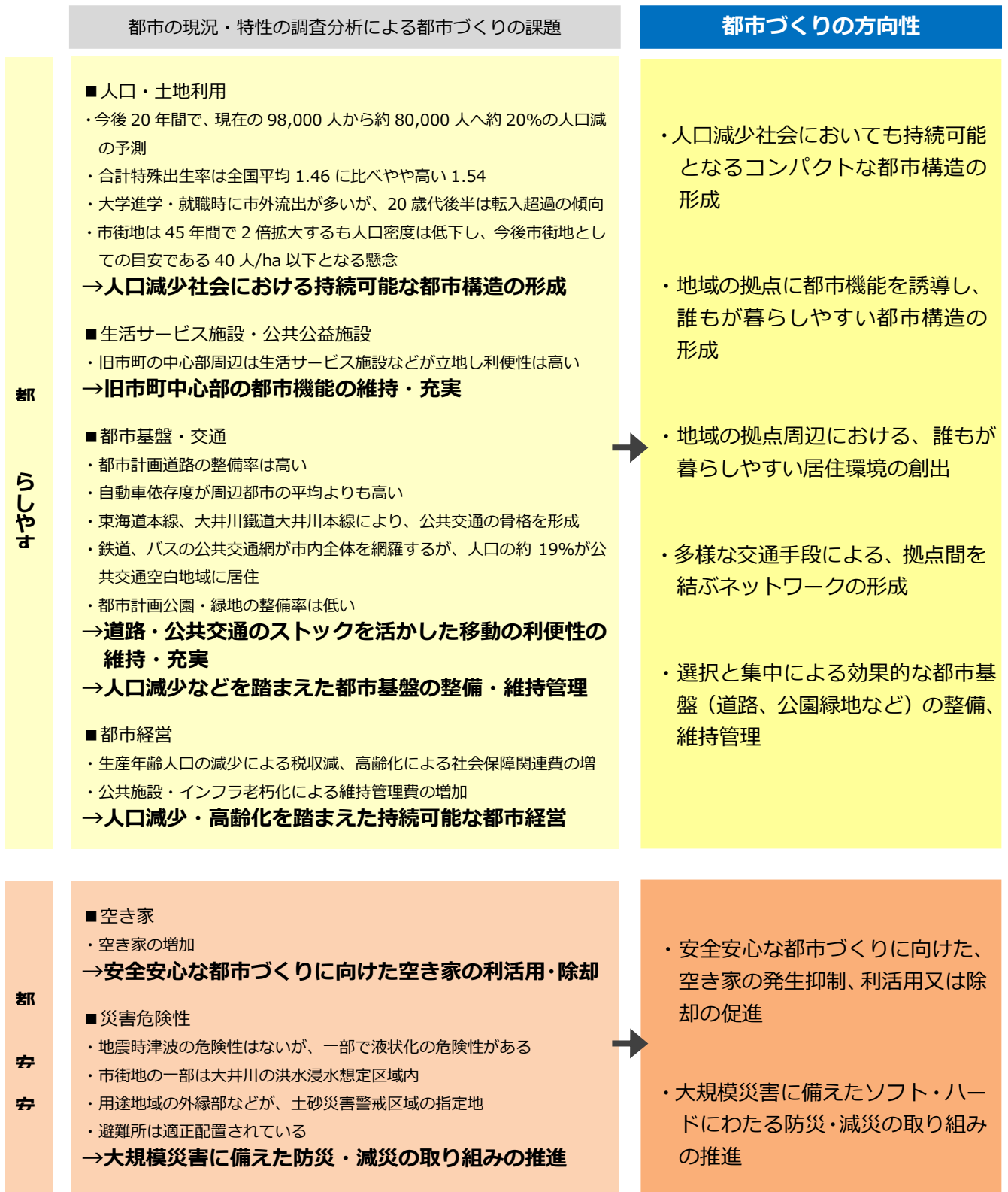
都市の現況・特性の調査分析による「都市づくりの課題」から「都市づくりの方向性」を、また市民等意識調査結果及び島田市都市計画マスタープラン等まちづくり市民会議などの意見から「都市のありたい姿」を整理します。

図 都市づくりの課題と方向性の整理の方法



4-2 都市づくりの課題と方向性

都市の現況・特性の調査分析から、都市づくりの課題と方向性を次のとおり整理します。



都
注

- 都市基盤・土地利用
 - ・東名・新東名高速道路、国道1号など広域幹線道路の要衝
 - ・世界とつながる富士山静岡空港の立地
 - ・新東名高速道路IC周辺に用途地域拡大
 →**交通利便性を活かした産業振興**
- 産業
 - ・茶業や大井川の水資源を活用した産業の発達
 - ・製造業における事業所数・製造品出荷額の減少
 - ・通勤流動における他市町への流出超過
 →**地域特性を活かした産業振興や企業誘致による働く場の創出**



- ・交通の要衝である利便性を活かした産業振興
- ・産業用地の整備や低・未利用地の有効活用による、新たな企業誘致や働く場の創出
- ・産業の高付加価値化やブランド化の推進

都
魅

- 商業
 - ・商店・従業員数の減少
 - ・中心市街地の空き店舗・空き地の増加
 →**中心市街地の活性化によるにぎわいの創出**
- 観光・情報発信
 - ・大井川、旧東海道、大井川鐵道のSL、温泉などの豊富な観光資源による観光客、宿泊客の増加
 - ・島田市緑茶化計画によるシティプロモーションの展開
 →**地域資源を活用した観光拠点の整備・充実、情報発信の推進**
- 交流人口・関係人口
 - ・市民、各種団体が主体となって地域の魅力を高める取り組みが実施されており、交流人口・関係人口が増加
 →**人口減少社会においても持続可能な都市の実現のための、交流人口・関係人口の拡大**



- ・まちの顔となる中心市街地における、にぎわいの創出
- ・今後の成長が見込まれる観光産業を中心とした、新たなにぎわいの創出
- ・地域資源を活用した観光拠点を結ぶネットワークの構築
- ・市内外に地域の魅力を伝える情報発信の推進
- ・持続可能な都市の実現のための、地域の魅力を高める取り組みを通じた交流人口・関係人口の拡大

都
環

- みどり・水
 - ・大井川を中心に、豊かな森林や農地が、市街地、集落地の周りに広がり、良好な都市環境に寄与
 - ・林業や農業の担い手が減少し良好な森林や農地環境の維持が懸念
 →**豊かな自然環境の保全・活用、低炭素・循環型都市の形成**
- 景観
 - ・自然、歴史及び文化の良好な景観が存在
 →**自然、歴史及び文化の良好な景観の保全・活用**



- ・豊かな自然環境や都市環境の保全・活用
- ・温室効果ガスの増加による気候変動やエネルギー問題の顕在化を踏まえた、低炭素や循環型都市の形成
- ・自然、歴史及び文化と調和した景観の形成

4-3 都市のありたい姿

第3章の市民等意識調査結果及び島田市都市計画マスタープラン等まちづくり市民会議などの意見より、5つの視点別に都市のありたい姿を次のとおり整理します。

